



ハイキングを楽しむ「越谷らるる」の登校拒否児ら。昨年10月、栃木県の太平山で

昨年二月に結成された「越谷らるる」・地域の教育

も、二人の子供が登校拒否になった経験を持つ。「学校に行きなさい、と話しても、どうしても行きたくないと言って……」。困り果てて専門医のカウンセリングを聞きに行ったところ、同じような悩みを持つ親に出会い、交流の輪を広げていったとか。設立時、数人

も、二人の子供が登校拒否になった経験を持つ。「学校に行きなさい、と話しても、どうしても行きたくないと言って……」。困り果てて専門医のカウンセリングを聞きに行ったところ、同じような悩みを持つ親に出会い、交流の輪を広げていったとか。設立時、数人

ゆったりと子供に接する

登校拒否児に塾を開放

を考える住民の会」は、越谷市など在住の登校拒否児を持つ父母らでつくるボランティア団体。登校拒否や子供の人權など、学校を取り巻くさまざまな問題の改善に取り組んでいる。

代表の増田良枝さん(四三)に立つのを忘れがち。広

う。自分の意思で遊んだり学んだりすることが大切。塾の開放は、その意味で子供の成長に最適な環境だと

「進学という当面の目標に子供たちは縛られて、学校も一つの価値観で子供を縛ろうとしている」と増田さんは指摘する。「今後

教育を考える「越谷らるる」

困難にぶつかった」と話す

「活動当初はいろいろと」は、増田さん宅「電話04889(78)25600」へ。